日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史

NDAモード通信

一般社団法人　日本洋装協会
事務局　〒113-0034
東京都文京区湯島4-8-3-307
TEL（03）3814-7023
FAX（03）3814-7023
発行人　中田眞理
編集人　三鉾イツ子
年3回発行　遠藤順子
リビ裕子

発行所　一般社団法人　日本洋装協会

平成29年度 第六十二回 通常総会開催

日時　五月二十一日（日）
会場　中野サンプラザ

5月半ばにしては異例の暑さの中、一般社団法人日本洋装協会の第62回通常総会が会員多数の臨席のもと、伊賀副理事長の司会により開会されました。

内野会長は慎重に審議され一年間の基本方針が確立されることを願っていると挨拶があり、中田理事長からは28年度のすべての事業が皆様のご協力のもと終了したとのお礼の言葉がありました。

定款24条の規定により内野会長が議長に選出し議事の審議が始まりました。

今総会は通常の一号議案から四号議案のご承認の件と五号、六号議案に役員改選案と定款一部改定ご承認の件があり、全て議案がご承認され総会は終了致しました。

今年は役員改選の年でしたが、引き続き内野会長と中田理事長体制でお願いすることになりました。また、六年間お力添えを頂きました早川顧問が退任され、江種氏が退会、新理事にリビ氏が加わり、顧問は未定になりました。

定款一部変更の件に今年度から参与を置くことが決まり石川氏が就任されました。又、広島東部地区と西部地区が統合され広島地区となりました。

総会終了後、第二回理事会が開かれ29年度の事業が討議され、各役員に辞令が渡され身が引き締まる思いがしました。

その後、フォレストの間に移り賛助会員と共に和やかに懇親会が続き、新年度のスタートを切りました。

与謝野馨元衆議院議員　死去

政界きっての政策通で財政再建に心血を注いだ与謝野馨元財務相が都内の病院で亡くなられました。当協会の会長・名誉会長を26年間と長きに亘り、お引き受け頂き、協会の誇りでございました。心から哀悼の意を表し、お悔やみ申し上げます。

2017 全日本洋装技能コンクール作品募集

主催　（一社）日本洋装協会
　　（公社）全日本洋裁技能協会
共催　（一社）全国技能士会連合会
審査会　平成29年10月8日（日）
　　中野サンプラザ
発表会　平成29年11月10日（金）
　　新橋ヤクルトホール
賞　内閣総理大臣賞
　　参議院議長賞
　　厚生労働大臣賞、経済産業大臣賞、文化服装学院長賞、ドレスメーカー学院長賞、他多数
出品区分　フォーマル部門（A部門）
　　カジュアル部門（B部門）
応募条件　未発表の作品
申込締切　平成29年9月20日
出品受付　平成29年10月3～4日
審査員　関係官庁　服飾学院
　　関係団体　出版団体
出品料　一点につき
◎会員・生徒
　A部門　18,000円
　B部門　16,000円
◎一般　A部門　22,000円
　　B部門　20,000円
◎30歳以下　両部門共　13,000円
出品希望の方には規程用紙・詳細を送ります。自分の可能性をチャレンジしてみませんか。
（一社）日本洋装協会事務局
TEL　03（3814）7023

REPORT No.51

技能グランプリ三位入賞して

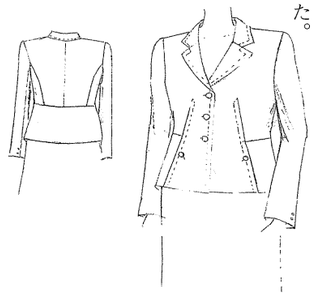
石田きよみ（大分県）

今回は地元大分県の推薦を頂いての出場で、前回出場時の反省も含め心中、期するものがありました。デザインが発表されて大会まで40日程しか無い時間の中での練習は、やればやる程課題が増え試行錯誤の中で大会を迎えました。

本番では練習中に失敗した点に注意し集中しましたが返却作品を見るとボタンホールとボタンの位置がずれていました（苦笑）

グランプリ大会は身につけた技術、技能を無意識に発揮するレベルまで高める必要がある点で、技術コンクールの集大成だという事を改めて認識した次第です。

後日、大分県庁での報告会に出席し競技内容を説明したあと「これからもものづくりの素晴らしさを全国に伝えて下さい」と祝福のお言葉を頂きました。



第29回技能グランプリ競技大会「婦人服製作」職種競技課題スタイル画

第29回 技能グランプリ大会に参加

鈴木　悦子（千葉県）

平成29年2月10～13日、静岡県のツインメッセ静岡で開催された。

課題のジャケットが公表されてから、初参加の私は練習時間が少なくて不安でした。

10時間という壁は高く時間配分、短縮を考え練習しかない、と感じた。

1.2㎝のステッチ、ペプラムとポケットをつなぐステッチが難しい。更に針、糸を何度か交換する作業、大会直前まで不安でした。

大会前日に静岡に入り、参加する5名と合流する、各自の制作方法やコツなどを披露して緊張をほぐした。しかし夜は中々眠れなかった。

大会当日は晴れ、空を見上げ、深呼吸してみる。緊張しながらジャケット制作に無心になった、時間内で完成出来た事が嬉しい。

勉強になるからと、先生方から背中を押して貰い参加して得るものが大きかった。洋裁を通じて皆さんと交流ができたことが、全て勉強になりました。

出場された選手

検定部講習会開催

検定部部長　臼井冨美子

今年で10周年を迎えた検定部主催の講習会が城東職業能力開発センターで5月27・28日（6月4日は補習日）に行われました。受講生は、ジャケット製作15名、ブラウス製作5名、又、HPを閲覧しての応募者が2割を超えました。

講師は、一級、千田・高野・小幡・佐藤、二級、石田・馬場の7名が担当しました。

2017 初夏のセミナーのお知らせ

日時　平成29年7月17日（祝）
　　13時30分～16時
場所　東京洋服会館　ジェントリーホール3F
講師　高野秋子先生
テーマ「匠の技」技術講習
　（グランプリ金賞作品・内閣総理大臣受賞作品の展示、説明）
会費　会員　3,000円
　　一般　4,000円

講習会終了後、業者による布地販売を致します。
詳細は後日お知らせ致します。
申し込・問い合わせ
教育部　日比まで
TEL 03（5490）0099

＝NDAニュース＝

http://nihonyousou.or.jp/

5月21日　第62回 通常総会　中野サンプラザ
5月26日　全技連マイスター会総会　KKRホテル東京
5月27～28日　検定部講習会　都立城東職業能力開発センター　1級15名　2級5名
5月30日　東職能総会　東京しごとセンター
6月8日　東技連総会　KKRホテル東京
6月19日　全技連総会・中央職能総会　中野サンプラザ
6月20日　全技連マイスター会　東京支部総会　アルカディア市ケ谷
7月17日　初夏の講習会　教育部　ジェントリーホール
7月31～8月5日　注文服業界世界大会（台湾）　8名参加
8月9日～11日　ものづくり・匠の技祭典2017　国際フォーラム（有楽町）
10月8日　技能コンクール審査会　中野サンプラザ
10月21～22日　第55回 全国技能五輪大会　栃木県
11月10日　技能コンクール発表会　ヤクルトホール

新入会員

中西　真波
神奈川県横浜市金沢区並木1の21の1の305

平成29年度(一社)日本洋装協会新役員

今年度役員改選の年に当たり、新理事1名が加わりました。

会長	内野 靖子
副会長	高橋 昌子
〃	福岡県支部長 東司フサエ
〃	須永 正江
〃	太田さい子
〃	千葉県支部長 原田 敏子
理事長	中田 眞理
副理事長	厚生部長 伊賀 玲子
〃	廣谷きくゑ
総務部長	佐藤 順子
常務理事	会計副部長 冨澤三喜子
〃	広報部長 三鈷イツ子
〃	教育部長 日比 和子
〃	検定部長 日本洋裁技能士会副部長 臼井冨美子
〃	日本洋裁技能士会会長 小幡 明子
理事	宮城県支部長 扇畑 秀美
常務理事	総務副部長 合田 睦子
〃	神奈川地区代表
〃	愛知地区代表 吉田 彌榮
理事	広島地区代表 加納まゆみ
〃	石川地区代表 酒井 啓子
〃	厚生副部長 石井 幸子
理事	広報副部長 遠藤 順子
〃	広報副部長 リビ 裕子
〃	教育副部長 黒澤 旬子
〃	教育副部長 三瓶 操
〃	検定副部長 石田きよみ
〃	検定副部長 馬場 明子
〃	東北地区代表 高野 秋子
〃	検定副部長
監事	大日向敬子
〃	田中 幸子
名誉顧問	保坂 三蔵
〃	山東 昭子
相談役	山本やい子
相談役	浅香とめ子
〃	千田 芳江
〃	管野タカ子
〃	牧野 能子
参与	石川 宮子

《新役員の抱負》

広報部 副部長 リビ 裕子

先日の総会で理事に承認され、広報副部長として活動させて頂きます。精一杯努力する所存です。

監事 田中 幸子

役職、監事に承認され、お役に立てますよう頑張ります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

創立70周年記念誌発行

一年前から企画をたて資料を収集し、度重なる編集会議を経て、この度70周年記念誌が完成致しました。60周年から改めて10年間の記念誌が発行出来ました事、編集に携わって頂きました関係者に感謝申し上げます。会員の皆様には一冊ずつお届け致しましたが、ご希望の方には一冊千円＋税でお分け致します。ご希望の方は03（3814）7023事務局迄

千田芳江先生の

技能者育成講習会

東北地区 佐藤 三津（仙台市）

4月15、16日の両日、仙台高等技術専門学校にて、本部相談役の千田芳江先生をお迎えし「毛芯仕立てのテーラードジャケット」と題して講習会が行われました。

製図について袖山の描き方の説明や、衿とラペルの折返りのゆとり分（外回りのゆとりが不足するため必ず型紙を補正する事）又、毛芯の据え方（布地の裏側に芯地をのせ、荒くしつけをかけて止めておく事）ハ刺しの方法（毛芯をしっかり服地につけ、表地を出来上がりの状態にカーブさせて手で支えながらしっかりした針目でハ刺しをしてゆく）等、実践を交えて説明され、受講生15名は先生の手先一つ一つに集中して勉強させて頂きました。

昼食時は緊張から解放され、先生を囲んで洋裁についての質問や宮城県の特産物のお話などして過ごしました。その他にも卓越した高度な技術を指導して下さり、私も洋裁を通して社会貢献出来る様気持ちを新たにしました。

千田先生の講習会

会員だより

洋裁の匠たちと和のお洋服店

石田きよみ（湯布院）

四月一日から九日まで九州湯布院で和服生地を用いた洋服を紹介する「和の洋服展」を開催致しました。

会場の庄屋サロンは、昨年の熊本大分地震で半壊の被害を受けましたが、著名人や温泉ファンの要望もあり（文化や趣味を楽しむ人の出合の場になれば）と改修されました。

会場のオープニング披露として展示会開催依頼を受け洋装協会の先生方にも参加をお願いして集める事のできた160点余の作品を用い、重厚な木材で二階までの吹き抜けの会場に素晴らしいアート空間を演出する事が出来ました。県外も含め404名の来場があり着物地からリメイクした洋服を楽しみかつ評価頂けた事は大変嬉しいことでした。参加の先生方、湯布院教室の生徒さんに交代で接客頂き様々な交流や出合もある盛況な9日間を終える事ができました。

庄屋サロン

職人の小技

千田 芳江

⑩裁ち鋏の選び方と使い方と手入れ

○洋裁職人の道具の中で、最も重要な裁ち鋏について思考しました。

1、鋏は手打ち製と機械製があり手打ち製のものが良い。（研ぎ直して一生使える）

2、利き手専用（右・左）で、握って見て手に馴染みの良いものを選ぶ。

3、長さは二四cmか二六cmが便利。

4、裁断は布を持ち上げずに鋏を這わせるようにして、手先だけでなく、全身で行う。

5、鋏は必ず閉じ、霧吹きや水入れから離して置く。

6、落としたり、強い衝撃を与えない。

7、紙は専用のものを使い、ガムテープ、セロハンテープは絶対に切らない。

8、使用した後、内刃についた布の粉末は柔らかい布で拭き取っておく。

9、注油は刃物専用の植物油（純正の椿油）を用い、支点にも油をさして滑らかな動きを保つ。

10、愛用の鋏は他人に安易に貸さない。

○日本古来の刀鍛冶の鍛錬技術による鋏は世界一です。精魂込めた鋏の作り手に対し、使い手として、「日本の鋏」を愛し、大切にしていきたいものです。

※向かって右「正太郎作」、左「明作」は筆者の愛用の鋏

石井幸子先生の現代の名工受章

「感謝のつどい」にお招き頂いて

内野 靖子

四月一日、平成二十八年度の卓越した技能者「現代の名工」受章祝いが福岡の西鉄グランドホテルで開催された。

東京から全技連の大関会長と日本内装仕上げ技能士会の飯島会長と中田理事長がお招きを受け、駆け付けた。

沢山のお花が飾られた会場には山東昭子名誉顧問と洋装協会の花が一際美しく香りを放っていた。

今回も義兄の阿部氏の軽妙な語りで始まり、最初に福岡県職業能力開発協会の山本課長のご挨拶があった。課長は石井先生の明るさと誰からも愛される人柄と長年の弛まぬ努力を称えていた。続いて職業能力開発協会杉山副会長、全技連大関会長の挨拶と続き、式典のトリの挨拶が私でした。私は石井先生の活動を中心に話させて頂きました。宴のクライマックスは石井先生から福岡県支部長の東司先生に感謝を込めた花束贈呈でした。お互いに長年の思いがこみ上げてこられ感動的でした。親子だからこそ、師弟関係は難しいと言われますが、見事に引き継がれていることに敬服しました。式典の最後に石井先生からお礼の言葉があり乾杯の音頭で賑やかに宴が始まりました。後半は手品やゲーム、そしてビンゴと楽しい志向が計画され、心のこもった景品が用意され細やかな配慮に感激しつつ会はお開きとなりました。

石井幸子先生の受章祝い

岡安茂男先生の初春セミナー

ジャケットの衿とラペルのパターン展開

リビ 裕子（東京都）

平成29年3月20日、前回に引き続き岡安茂男先生の技術講習会が東京洋服会館において開かれました。

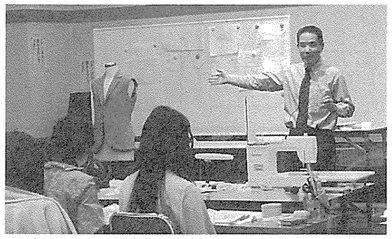
ジャケットの衿（地衿の月腰切り替えを含む）とラペルのパターン展開を実技指導して下さいました。

表衿と月腰の関係について、首に沿った衿のシルエットを出すためキセ分量、返り分量、位置等の展開を、布地がどのように変化していくのか、先生の解説を聞きながら実際に体験してきました。

又、テープの張り方やダーツの縫い方、ミシンのかけ方などはスライド映像を通して勉強しました。

テープの種類はハーフバイヤステープでした。

百聞は一見に如かずのごとく実際に目で見て具体的に確認できる講習は、大変解りやすいと感じました。


岡安茂男先生のセミナー

東技連異業種交流研修旅行に参加

小幡 明子（東京都）

目に優しい山々の緑、海、由比ヶ浜を望む絶好のロケーションわかみやは鎌倉らしい風情の癒しの空間でした。

今年は参加者が多く早川顧問、中田、伊賀、廣谷、小幡、臼井氏の6名です。

異業種交流のメインは講演会、最先端テクノロジー社会「ロボットスーツのある未来、実装により重介護ゼロ社会を切り抜く」と湘南ロボセンターの久野孝稔氏は「時間ほど熱く語り、実際に内装の飯島氏にロボを装着させ動かして見せ、62名の参加者は驚かされたり、笑わせたり、研修に相応しい時間が過ぎました。

夕食を兼ねた交流会は、調理技能士会の川口氏指導の名料理と共にお酒で盛り上げました。

翌日あいにくの小雨、日帰りを除いた40名は史跡めぐりや美しい古都鎌倉の紅梅、白梅を眺め散策をした後、グリーン車に揺られて帰還しました。

交流会にて